



広報

いいたて

<http://www.vill.iitate.fukushima.jp>

平成16年

6 JUN
月

488



祝

家族や村長と植樹をする
高池スエさん（写真中央）



草野の高池スエさん 村で初めての満100歳

6月4日、草野の高池スエさんが100歳の誕生日を迎えられ、自宅で賀寿贈呈が行われました。

賀寿贈呈の後には、村から贈られた記念樹「ハナミズキ」を家族と一緒に植樹して100歳の誕生日をお祝いしました。

(記事2～3ページ)

家族
活力あふれる
ハナミズキ・ライフ
いいたて

元気で1世紀

おめでじゅいぶじゅいあります

村で初めての満100歳



板垣繁幸相双保健福祉事務所副所長から手渡された知事賀寿

高池スエさんは、明治37年6月4日生まれ、今年の誕生日で満100歳を迎えられました。村で100歳を迎えられるのは高池さんが初めてです。

知事賀寿贈呈

6月4日、自宅で行われた知事賀寿贈呈では、相双保健福祉事務所の板垣繁幸副所長からスエさん本人に、知事賀寿と記念品、知事直筆の色紙が贈られました。また、村長からは記念品が、福島県老人クラブ連合会からは賀寿が、村老人クラブ連合会からは賀寿と記念品がそれぞれ贈られました。

好物は干し芋

「家族のお話しによると、スエさんは食べ物の好き嫌いがなく、歯も丈夫で何でも食べられるとのこと。」

また、昔から芋を良く食べているとのこと、なかでも大好きな干し芋は毎日食べる。最近では、玄孫と一緒に菓子も食べているそうです。

健康の秘訣は散歩と睡眠

スエさんは、若い頃に飴や雑貨を歩いて売っていたそうです。最近まで



窓の外を眺めるのも日課のひとつ (高池スエさん)

は、毎日近所を散歩していたそうです。今でも自分の足で歩けます。風邪もめったにひかず、トイレも自分で済ませることが出来ます。また、毎日昼寝をするのははじめ、夜の睡眠時間も十分にとられているそうです。スエさんが印象に残っていることは、20年以上前に、遺族年金友の会で沖繩へ行ったこと。今でもテレビで沖繩が映ると思い出します。スエさんは「みんなにお世話になって長生きできありがたい」としっかりと口調で感謝の言葉を話していました。

スエさんの100年でみる「飯館村・日本・世界の歩み」

年	高池スエさん	飯館村・日本・世界の歩み
2004年 (平16年)	100歳	(世) 日露戦争 (日) 新潮社「新潮」創刊
1994年 (平6年)	90歳	(世) 第1次世界大戦 (日) 第2次大隈重信内閣成立
1984年 (昭59年)	80歳	(世) ソ連が国際連盟に加入 (日) 室戸台風が関西、四国を襲う
1974年 (昭49年)	70歳	(世) アメリカ機動部隊、沖縄を空襲 (日) 北海道噴火湾東岸で大噴火、昭和神山が出現
1964年 (昭39年)	60歳	(世) モンゴル人民共和国成立 (日) 摂政裕仁親王、久邇宮良子女王と結婚
1954年 (昭29年)	50歳	(世) ソ連で世界初の工業用原子力発電所が稼働開始 (日) 吉田内閣総辞職
1944年 (昭19年)	40歳	(世) アメリカ機動部隊、沖縄を空襲 (日) 北海道噴火湾東岸で大噴火、昭和神山が出現
1934年 (昭9年)	30歳	(世) ソ連が国際連盟に加入 (日) 室戸台風が関西、四国を襲う
1924年 (大13年)	20歳	(世) モンゴル人民共和国成立 (日) 摂政裕仁親王、久邇宮良子女王と結婚
1914年 (大3年)	10歳	(世) 第1次世界大戦 (日) 第2次大隈重信内閣成立
1904年 (明37年)	0歳	(世) 日露戦争 (日) 新潮社「新潮」創刊

長生きの記録更新を！ 家族から



池百子さん

スエばあちゃん、体も丈夫で、自分のことは自分で出来ますから、あまり手がかりません。最近気を付けていることといえば、近所に出掛ける時でも車で送るようにしています。転んだりしたら大変ですから。

いつの間にか100歳を迎えたという感じ。98歳を迎えた頃から、周りの人たちに「風邪をひかせないように」、「100歳まであと何年」などと言われるようになり、むしろ家族よりも周りの人たちが気を遣ってくれました。これからも元気に過ごして、長生きの記録を更新して欲しいですね。

飯館村100歳お祝い記念事業

村では、今回高池スエさんが100歳を迎えられたこと、さらには、今年11月にも100歳を迎えられる方が1人いることから、村民への高齢者福祉についての関心と理解を深め、高齢者の健康増進に務める意欲を高めることを目的に「飯館村100歳お祝い記念事業」を今年から行うことになりました。詳しい内容は左のとおりです。

《参考》

福島県内での100歳以上の方は、高池スエさんを含め、男性49人、女性278人の計327人となっています。

(平成16年6月4日現在)

飯館村100歳お祝い記念事業の内容

- (対象) 村内に住所を有し満100歳を迎えた方とその同居する家族。ただし、村内に居住していない方は除く。
- (温泉旅行等への助成) 基本的には1泊2日とし、本人を含め同居家族で50,000円を上限に助成する。ただし、対象者が寝たきり等により旅行ができない場合には、同額程度のお祝いをします。村外出身で特養「いいたてホーム」に入所されている場合でも、温泉旅行等への助成を行う。
- (記念樹の贈呈) 家族等の希望する樹種とし、予算の範囲内において贈呈する。ただし、村内に適宜な植樹を行う場所がない場合は、贈呈を行わない。

当事業に関するお問合わせは、保健福祉課福祉係 (☎42-1620) へ